

平成20年4月4日

国立国会図書館におけるデジタル情報の収集・保存・提供の取組み

国立国会図書館総務部企画課
電子情報企画室長 田中 久徳

1. 電子情報時代における国立国会図書館の対応
 - 「国立図書館（納本図書館）」の側面
 - ・ 「出版物」の電子化、デジタル情報資源に対する対応
 - ・ 「電子図書館サービス」の拡大、検索機能強化、蔵書のデジタル化
 - 「国会（議会）図書館」の側面 → 立法補佐機能・情報提供機能の強化
2. 「電子図書館サービス」の取組み（「電子図書館中期計画2004」）
 - 「デジタル・アーカイブ」の構築
 - 情報資源に関する情報の充実
 - デジタル・アーカイブのポータル機能
3. 個別事例（1）－情報資源の収集・蓄積と提供（1次情報）－
 - WARP（インターネット資源選択的蓄積事業）
 - 「ウェブアーカイブの法制化」
 - 資料電子化「近代デジタルライブラリー」
4. 個別事例（2）－情報資源の組織化・検索アクセス手段の提供（2次情報）－
 - NDL-OPACとPORTA（NDLデジタルアーカイブポータル）
 - D-Navi（データベースナビゲーションサービス）
5. 個別事例（3）－主題情報・知識情報の提供（3次情報）－
 - レファレンス共同データベース
 - テーマ別調べ案内（ナレッジベースシステム）
 - 立法情報提供（「調査の窓」立法情報ライブラリ）

（参考資料）

- ・ 「国立国会図書館中期計画2004」
- ・ 「国立国会図書館デジタルアーカイブポータルPORTA」
- ・ 「WARP（インターネット情報選択的蓄積事業）」

国立国会図書館における電子情報の収集・保存・提供の取組み

国立国会図書館
総務部企画課電子情報企画室
田中 久徳

2008年4月4日

国立国会図書館の役割

- 「国立図書館」としての機能
 - 納本制度による国内出版物の網羅的収集と長期的利用の保証
- 「国会(議会)図書館」としての機能
 - 国会のための立法補佐業務(資料に基づく調査・情報の提供)

1

電子情報環境への対応

- 電子情報資源への対応
 - 「電子出版物」の増大
 - インターネット情報の収集
 - 電子情報の長期保存機能
- 蔵書のデジタル化
- インターネット経由の電子図書館サービス
- レファレンス・情報提供機能の高度化

2

電子情報の収集・保存・提供

- デジタル・アーカイブの構築
 - ネットワーク上の情報資源の収集・保存
 - 図書等のデジタル化
- 情報資源に関する情報の充実
 - 検索インターフェイス・探索ツール
- デジタル・アーカイブのポータル機能
 - 統合的検索・ワンストップサービス

(電子図書館中期計画2004)

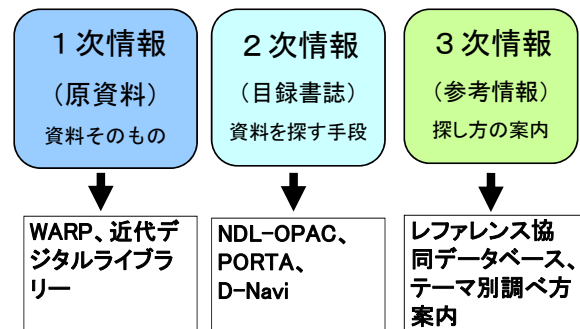
3

電子図書館サービスの全体イメージ



4

情報種別からみた電子サービス



5

WARP (Web ARchiving Project) インターネット資源選択的蓄積事業

- 電子雑誌(約1,505誌)
- ウェブサイト

- 政府機関(51)
- 協力機関(2,053)
 - 合併前の市町村
 - 法人・機構
 - 大学 イベント



6

WARP 検索結果(一覧表示)



7

WARP 検索結果(個別レコード)



8

ウェブ・アーカイブの必要性

- 消えゆく情報
 - 短い寿命 ウェブ情報の平均44日
 - 移動のリスク リンク切れ1年で4割
- 既存著作物のポーン・デジタル化
 - デジタルのみの雑誌の拡大
 - 2020年にポーンデジタル率4割の予測
 - 消滅のみならず、偽造・改変のリスク
- 学術コミュニケーションの変容
 - 「所有からアクセスへ」(電子ジャーナル)

9

ウェブアーカイブの制度化検討

- 「納本制度審議会答申」(平成16年12月)
 - 「制度化検討案」(平成17年6月)
- ↓
- 実現へ向けた課題
 - 違法・有害情報、表現の萎縮
 - 著作権制限(特に公衆送信権の壁)
 - 対象範囲を限定した形の「制度化」を検討
(平成21年度中の実現をめざす方針)

10

近代デジタルライブラリー

明治期・大正期刊行図書

- 約97,000タイトル
(143,000冊)



11

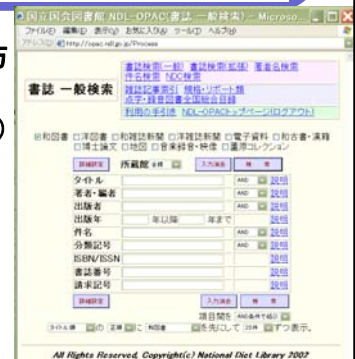
所蔵資料のデジタル化

- サービス拡充の可能性
 - 「利用」と「保存」の両立
 - 「全国サービス」の実現
- 実現のための課題
 - 著作権許諾
 - 実施経費
 - 技術の陳腐化

12

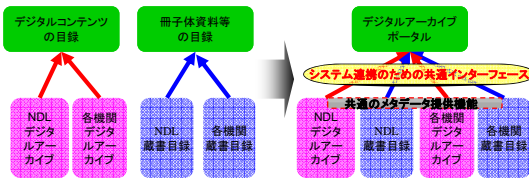
NDL-OPAC

- 書誌: 約 1,600 万
(うち、雑誌記事索引 約780 万件)
- 遠隔地からの複写依頼が可能



NDLデジタルアーカイブポータル(PORTA)

- デジタルアーカイブの統合検索サービス
 - デジタル情報資源は分散して存在
 - 閲覧から紙資料の入手情報までを案内



14

「国のデジタル資源共有のために」

- 幅広いデジタル情報へのワンストップナビゲーションの実現
 - 検索対象の拡充、参加機関拡大
- 政府機関、図書館、学術研究機関、地方公共団体、民間機関の保有する幅広いデジタルコレクションの利用促進

15

PORTAの検索対象

	NDL	他機関
一次情報	近代デジタルライブラリー 貴重書画像データベース 児童書デジタルライブラリー 貴重書サンプル	デジタル岡山大百科 秋田県立図書館デジタルライブラリ 青空文庫 国立公文書館デジタルアーカイブ アジア歴史資料データベース
二次情報 参考情報 etc.	蔵書目録 雑誌記事索引 プランゲ文庫雑誌・新聞目録 児童書総合目録 WARP、D-Navi レファレンス協同DB カレントアウェアネス	秋田県立図書館記事索引 府省所管デジタルアーカイブサイト情報 新書マップ

全20種類のアーカイブ、データ件数合計約800万件

16

D-Navi データベース・ナビゲーションサービス



17

D-Navi 検索例(環境)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	2	3	4	5	6	7	8	9

18

レファレンス協同データベース

レファレンス協同データベース事業
Collaborative Reference Database Project

トップに戻る

利用方法

- データベース検索
- 利用方法
- 利用上の注意
- お問い合わせ
- 参加館のページ

レファレンス事例

レファレンス事例

レファレンス事例

レファレンス事例

参加館：452 館 データ公開：17,000件

19

レファ協 検索結果(一覧)

検索件数: 398件	レファレンス事例(398)	調べ方マニュアル(53)	特別コレクションデータ(0)	参加館プロフィール(3)
1.	2006年01月24日	埼玉県立中央図書館	2008年03月25日	
2.	2005年04月10日	埼玉県立中央図書館	2008年03月20日	
3.	2007年05月19日	東京国立中央図書館	2008年03月19日	
4.	2007年05月19日	東京国立中央図書館	2008年03月19日	
5.	2006年09月15日	埼玉県立中央図書館	2008年03月17日	

20

レファ協 検索結果(回答例)

管理番号	都立図書-2007005697
質問	世界遺産に登録されることになって、周辺の環境が変わったことを記述している資料を紹介してほしい。観光客がどわらなくなったか、ゴミ問題が発生した。などを入れて。
回答	都立DBをキーワードで検索。検索した中から、資料1~6を紹介した。また環境問題に関する項目から文献検索でも資料7、8を紹介した。 資料1: 水に係る世界遺産についてまとめた資料である。具体的な事例としてp.24でアンコールワットを囲む観光客の靴のヒールが路面を劣化させている事例、p.121-122では自国が世界遺産に指定されたことにより、地元の人の意識が変化し、観光客の見え方も、味わいものもあらって出てくる観光産業が盛んになり、従来の人間関係にまで大きな変化が及んでいることが紹介されている。 資料2: p.200-206第3章 歴史と自然の生態系におけるエコリズムを地元ではよく知ることに、「観光客の増加で自然が変化した」とか山田:44、客の自然に対するマナーの問題が起きているという記述がある。資料3: p.197-231第6章 未来に向けた他の世界遺産の事例中、p.209-211は自国の事例があり、観光客が増えたことによる交通渋滞やゴミの処理などについて記述がある。 資料4: p.50、第3章第2節 自然の他にも課題と今後の展望として、観光客の急増により過剰利用が生じており、トイレの不足による劣質汚濁やゴミの増えなど、自然環境への影響が懸念されている旨の記述がある。 資料5: 自然保護と観光との関係を論じている。第1章「自然環境の脅威に代わり」中p.39-43水質汚濁、ゴミの山で観光客による自然への被害を紹介している。 資料6: 第5節「現在の自然の状況」p.41「森林資源調査(1999年)で遊覧客から入山者のみでの設置、高山植物の採取などのマナーの普及や管理の強化が報告された旨の記述がある。 資料7: 8: 索引(世界遺産の項)から引く。「世界遺産(自山山域)」「世界遺産(保護)」「世界遺産(保護)」「登録運動の各項目に関する文献(回答)を紹介している。

21

主題情報の提供

- 「テーマ別調べ案内」
- 「参考図書紹介」
- 「目次情報」
- 「レファレンス受理処理結果」

主題に係る情報を「知識ベース化」
「ナレッジ提供サービス」に統合(平成21年)

22

テーマ別調べ案内(例:環境問題)

- 「ごみ処理・リサイクルについて調べる」
- 「水質汚濁について調べる」
- 「土壌汚染について調べる」
- 「騒音問題について調べる」
- 「大気汚染について調べる参考情報源」
- 「化学物質の発がん性について調べる」
- 「ダイオキシン類を調べる参考図書」
- 「両生類ツボカビ症—インターネット情報と当館所蔵・無料アクセス可能雑誌論文リスト」
- 「温室効果ガス・地球温暖化データに関するリンク集」

23

テーマ別調べ案内（案内例）

環境統計 最終更新日:2007-10-03

環境統計について調べるための統計書、インターネット情報には以下のようなものがあります（[]内は当館請求記号。請求記号に関する記述がない資料は、号により請求記号が異なります。そのような資料の請求記号については、NDL-OPACでタイトル等による検索を行ってお調べください）。

1.環境全般

●『環境統計集』(ぎょうせい 年刊【Z71-J744】)

「経済社会一般」、「地球温暖化」、「物質循環」、「大気環境」、「水環境」、「化学物質」、「自然環境」、「地球環境」、「環境対策全般」の章から成っており、環境に関する様々な統計が幅広く収録されています。統計によっては、過去数年分のデータや、細かい種別のデータ、地域別（都道府県、国別）のデータなども多く盛り込まれています。また、掲載されている個々の統計は、「人間活動」および「負荷」（環境問題の原因）を示すD指標、「状態」を示すS指標、「対策」を示すR指標の3種類に分けられていて、その統計が環境問題のサイクルの中でどの部分にあたる指標なのかを表されています。

この資料は環境省HP内環境統計集でも公開されています。

24

立法情報サービス

□ 国会会議録フルテキストデータベース

□ 日本法令索引

□ 刊行物の公開

> 「レファレンス」

- ・「中国に対する環境協力の現状と課題」(2007.12)

> 「調査と情報」

- ・「海洋汚染防止と二酸化炭素の廃棄(貯留)」
- ・「大都市圏の自動車大気汚染対策」

> 「外国の立法」

25

国会会議録フルテキストデータベース

衆・参本会議 委員会審議

第1回(1947年5月)

現在



26